

2023 年 6 月
在グアテマラ日本国大使館

《ポイント》

- 6 月 25 日に投票が行われる大統領選挙に関し、米州機構 (OAS) は、司法が特定の候補者を排除しているとして懸念を表明した。
- 経済関係では、在米移民等による本年 1 ～ 4 月の郷里送金額が前年同期比 9.7% 増の 59.8 億ドルとなった一方、貿易収支面では、2023 年第 1 四半期の輸出額が 38.5 億ドル、輸入額は 73.3 億ドルで引き続き赤字 (△34.8 億ドル) を記録した。
- 外交面では、5 月 8 ～ 12 日にカリブ諸国連合 (ACS) 関連会合が古都アンティグアで開催され、最終日には首脳宣言が採択された。

1 内政

(1) 2023 年大統領選等総選挙に関する動き

ア 米州機構 (OAS) による懸念表明

5 月 26 日、憲法裁判所は、カルロス・ピネダ候補〔市民繁栄党 (PC)、右派〕の立候補資格取消し (高裁決定) に対する同氏の異議申し立てを棄却。同候補は大統領選出馬を断念せざるを得ない状況となった。今次大統領選挙では、これまでに最高選挙裁判所 (TSE) が、テルマ・カブレラ候補〔国民解放運動党 (MLP)、急進左派〕と、ロベルト・アルスー候補〔ポデモス党 (Podemos)、右派〕、両 2 名の立候補登録を認めなかった経緯がある。5 月 8 日、米州機構 (OAS) は、今次大統領選挙において特定の候補者が選挙から排除されていることに懸念を表明、その後も国内外で恣意的な候補者排除であるとの批判の聲が上がっている。

イ EU 選挙監視団派遣

これまでに OAS が今次選挙への監視団派遣を発表しているが、EU も、ジョルディ・カニャス欧州議会議員が団長を務める形で監視団を送る旨明らかにしている。約 120 人規模での活動となる見込みで、これには EU 加盟国以外でノルウェー及びカナダも加わる。

(2) 主要日刊紙エル・ペリオディコの閉刊

5 月 15 日、現政権を含む歴代の汚職事案や無処罰問題を報道・追及してきたメディアの 1 つである当地主要日刊新聞エル・ペリオディコ紙が閉刊した。同紙は閉刊に先立ちプレスリリースを発出し、サモラ同紙社主の逮捕後、同社に対する政治的・経済的な圧力・迫害があり、経営が立ちゆかなくなったため閉刊を余儀なくされた旨明らかにした。これを受け、各方面から当国における表現の自由や報道の自由に対する懸念が示された。

2 経済

(1) IMFの対グアテマラ4条協議報告書

5月24日、3月に行われた国際通貨基金(IMF)との4条協議の報告書が発表された。グアテマラ経済は、適切なマクロ経済政策と堅実かつ多くの郷里送金に支えられ、2022年のGDP成長率は4.1%であった。2023年見通しは3.4%とされる。

(2) 4月のインフレ率

2023年4月のインフレ率(前年同期比)は8.32%であった。

(3) 郷里送金 2023年1～4月期

2023年1月から4月の郷里送金は59.8億ドルであり、前年同期比で9.7%増加した。なお、4月のみの送金額は15.5億ドルであった。

(4) 輸出入額(2023年第1四半期)

2023年第1四半期の輸出額は38.5億ドル(前年同期比4.8%減)、輸入額は73.3億ドル(同5.5%減少)でともに減少、34.8億ドルの輸入超過であった。

(5) 家計支出の増加

ア 基本食料品34品目に加え、交通費、衣類、履物、娯楽などの費用を含む日常生活における家計の基礎的支出「基本拡張バスケット(Canasta Basica Ampliada)」は、2023年4月に8,603.35ケツアル(約1,117ドル)で、前月比0.06%の増加、昨年4月から15.78%(1173.13ケツアル)の増加となった。

イ また、2023年4月の食品消費財のみを含む「基本食料バスケット(Canasta Basica Alimentaria)」は、3,726.11ケツアル(約483ドル)で、前月比0.06%の増加、昨年4月から15.86%(510.4ケツアル)の増加となった。

(6) インドYash Pakka社による新規投資の発表

5月23日、インドのYash Pakka社は、サトウキビの絞りかす(バガス)を原料とした包装材の工場を当国南部沿岸に建設する旨発表した。今後10年間で約2.5億ドルの投資を行い、900～1,200人の雇用(間接雇用を含む)を創出するとしている。

3 外交

(1) カリブ諸国連合(ACS)閣僚会合及び同首脳会合の開催

ア カリブ諸国連合関連会合

5月8～12日、当国スチテペケス県アンティグア市において、カリブ諸国連合(ACS)会合が開催され、加盟各国は貿易・投資・開発・気候変動等幅広いテーマで意見交換を行った。またこの機会に(10日)、台湾と外交関係を有するカリブ・中南米諸国(グアテマラ、セントルシア、パラグアイ、ハイチ、ベリーズ、セントクリストファー・ネイビス)は台湾との友好国会合に参加した。

イ カリブ諸国連合閣僚会合

5月11日には第28回カリブ諸国連合(ACS)閣僚会合が開催され、カリブ諸国連合(ACS)加盟25か国及び準加盟9か国などが参加。同会合には、オブザーバー国として6か国の外相等閣僚(セルビア、サウジアラビア、韓国、アラブ首長国連邦、ウクライナ、スロベニア)も一部会合に出席した。我が国は、我が国は林外務大臣のビデオメッセージにて、ACSさらには国際社会における貢献等につき力強く発信を行った。
(<https://www.youtube.com/watch?v=zMzKsLwMXBM>)。

ウ カリブ諸国連合首脳会合の開催

5月12日の第9回カリブ諸国連合(ACS)首脳会合では、ACSの強化、ポストコロナの経済回復・公共医療の強化、持続可能な観光モデルの構築、気候変動対策、ブルーアジェンダへの取組等を含む「アンティグア・グアテマラ宣言」が採択された。

(2) 日本関係

ア 「ワクチンの管理・運搬等に関するオンライン自主研修講座」開始式

5月9日、保健省において、コールド・チェーン整備のための我が国緊急無償資金協力により実施された研修の収録動画・教材を用いて行われる「ワクチンの管理・運搬等のオンライン自主研修講座」の開始式が行われた。同イベントには、グアテマラ政府からレスリー・サマジョア保健次官が出席、ドナー側として、当地 UNICEF 事務所(カルロス・カレーラ代表)及び在グアテマラ日本国大使館(出来臨時代理大使)が同席した。

イ 私立バジェ大学での日本文化週間の開催

5月16～18日、在グアテマラ日本国大使館は、私立バジェ大学の本校(首都)及びソロラ校において、「第8回日本文化週間」を開催した。アニメ講演や漫画教室、元国費留学生による国費留学説明会、折り紙教室、武道デモンストレーション等が行われ、日本に関心を有する学生等多くが集った。

(3) 米国関係

ア 米国の移民流入制限措置「タイトル42」終了

5月11日、米政府による、公衆衛生上の必要を理由とする移民受入れ制限措置「タイトル42」が終了。当国外務省は、10日付けプレスリリースを通じ、国民に対して非正規の手段による米国への移民を思いとどまるよう呼びかけ、当国政府として、安全で秩序ある人の移動、移民を促進するべく一層の取組を行う旨発信した。

イ ゼヤ米国務次官の当国訪問

5月24～26日、ウズラ・ゼヤ米国務次官が当国を訪問。治安、移民、人権、民主主義等の幅広い分野につきグアテマラ政府等と意見交換を行った。

ウ ジャマテイ大統領とハリス米副大統領の電話会談

5月26日、ジャマテイ大統領はハリス米副大統領と電話会談を行い、非正規移民、国境警備、麻薬との闘い、投資等について意見交換を行った。

エ ゴードン米国家安全保障担当副大統領補佐官の当国訪問

5月31日、フィリップ・ゴードン米国家安全保障担当副大統領補佐官は当国を訪問し、ジャマテイ大統領表敬の他、政府高官との会合を行った。この後、両国政府は、米国に居住する家族との再会を実現し、米国短期就労ビザの申請等を行う「oficinas de Movilidad Segura」が当国内（隣国との国境沿い等を想定）に設置する旨発表した。

（４）台湾関係

ア 台湾衛生福利部長の当地紙寄稿

5月12日付当地主要紙プレッサ・リブレは、薛瑞元台湾衛生福利部長の寄稿文「ポストパンデミック時代における持続可能な公衆衛生の発展」を掲載した。同寄稿文の中で、台湾は国際社会に対して改めてWHOへのオブザーバー参加を求める等した。

イ 台湾の対グアテマラ協力

5月24日、当国保健省と当地台湾「大使館」は、母子保健を改善することを目的に、「医療技術推進プロジェクト第2フェーズ」に関する取決めに署名した。各種技術移転のため国立病院の医師や看護師等への研修が行われる予定。

（５）その他：ウクライナ外相の当国訪問

カリブ諸国連合(ACS)首脳会合の当地開催にあわせて当国を訪問したクレバ・ウクライナ外相は、11日、ジャマテイ大統領を表敬訪問し、グアテマラが示してきたウクライナへの団結に謝意を表明した。また、この機会にウクライナ政府から、ジャマテイ大統領に対して、ヤロスラフ賢公一等勲章(the Order of Yaroslav the Wise 1st)が贈られた。

《経済指標》

◇主要経済指標◇	2023 年			2022 年	2021 年
	3 月	4 月	5 月		
インフレ率（前年同月比）	8.71%	8.71%	6.54%	9.24%	4.28%
貿易収支（百万ドル）	△1,125	△1,038	未発表	△16,437	△12,987
輸出（百万ドル）	1,453.8	1,229.8	未発表	15,684.3	13,620.7
輸入（百万ドル）	2,579.4	2,268.5	未発表	32,121.8	26,607.8
外貨準備高（百万ドル）	20,343.7	20,173.6	20,044.4	20,019.8	20,939.6
外国からの送金（百万ドル）	1,665.8	1,551.4	1,811.9	18,040.3	15,295.7
為替レート（対ドル月平均）	7.80	7.81	7.83	7.75	7.73

（出典：中銀、国立統計院）